

といる通信

2017年12月

第65号 (師走)

一か月ぶりですね、皆様。こんにちは！居場所「といる」木曜日スタッフの川澤岳也です！今月もどうぞよろしくお願いします！先月、この居場所便りの冒頭で台風が2個通過したことについて触れたのですが、後になってといるではテレビのアンテナが折れていたことが分かりました。いやー、ヒヤリとしますね。とは言え、人的被害についての知らせは入ってこないのが皆さん、ご無事かと思われまます。ほっとしています。



それでは今月も行ってみましょう！（スペースの都合で不自然な改行で始まってしまいました。ゴメンナサイ！）まずは（株）相愛さんでのお仕事的一幕から・・・先月（十一月）の十七日に、（株）相愛さんでの新割りの仕事を一通り終えた後、担当のMさんからレクチャーがありました。これから本格的に薪ストーブが稼働する季節に入っていくので、割り終わって溜めておいた薪を出荷しなければならぬとのことでした。それで、われわれ、やいろ鳥の会の新割り参加者や親御さんに薪の箱詰めめの仕事も請け負って欲しいのことでした。これらの写真はその指導の時のものです。Mさん、どうもありがとうございました！



次に、近況報告です。先月（11月）19日（日）、東京の蒲田で開催された「つな・かん」ファシリテーター研修なるものに出席しました。夜行高速バスに乗って東京駅に着き、事前情報に従って品川から京急線に乗り換えるルートで会場に向かったのですが、品川駅での乗換システムが独特で少々戸惑いました。この日、参加したのは主に中四国ブロックの親御さん・当事者でした。で、参加してみて、ちょっと勘違いしていたことが分かったのですが、「つな・かん」という括りでファシリテーターの研修をする場というより、「つな・かん」の『ファシリテーターの養成をする場』だったらしく、ファシリテーターというものについて専門的に学ぶ場ではなかったらしいのです。でも、思い違いしていたから無意味な研修だったかというところなことはなくて、「つな・かん」前半の「つな・かん」疑似体験の場では、参加者がテーマごとに分かれて自分の関心あるテーマのテーブルに座り（この日は30分×2ラウンド制）、話し合いの場を持つという形でした。私は親子関係の問題に関するテーブル

に着席し、自分の悩みに光が当たる体験をしました。昼食休憩を挟んで午後の「つな・かん」実行各地域に分かれての話し合いでは、KHJ本部の方々や（3名）、某地域のひきこもり当事者（1名）、中四国ブロックの某県のファシリテーター（2名）の方々と同じテーブルになり、来年（2018年）2月25日の高知での「つな・かん」本番についての話し合いを行いました。「安心・安全」な対話の場というのが「つな・かん」の目指す所であり、午後の話し合いの場ではある方がかなり「対話」の本質に迫る発言をしたので、私は「えー、そんなこと言っちゃっていいの？」とビックリしました。その発言を受けて午後の話し合いが進められました。（この場で再現できないのが残念です。でも、本当に驚きました。）その時に、KHJ本部の方から各支部の状況を分る範囲で共有させてほしい、という申し出があり、私も話せる範囲で内実を伝えました。それで、出来る限り誠実に話したつもりです。でも、伝わったかどうか分かりません。何の事かというところ、坂本会長から地元での活動で大きなバックアップをもらっていたり、

地元の当事者と一緒にいると非常に居心地のいいひきこもりライフを送っているようではあるが、「こうやって東京の様な全国区のひきこもり界隈のイベントに出てくると、独りで自分を支えなくてはいけなくなるが、そういう時に自分が丸裸になってしまつて、そんな時にすごく当事者格差を感じるということを経験しました。そしたら、先述の同じテーブルにいた当事者の方から、「自分も地元での活動でそんなことは感じたなあ」と同意のコメントを頂いて、そのことは印象的でした。「来年の「つな・かん」本番でそのこと（当事者格差）がテーマのテーブルを作ったらどうか？」というご意見も頂きました。今後に生かせたらと思います。その後で懇親会が開かれたのですが、打ち明けの席にトラウマがあつて、途中で具合が悪くなつてしまいました。介抱して下さった方に感謝します。

つたことがあるんです。自分の中で良く分からずに棚上げにしている、でもインパクトのあつた経験の事なんですけど、じつじつじつじつじつじつ、私が今の病院に初めて入院した時、同じころ入院していた患者さんの中に「二次元・『今』を生きている」と繰り返して言っていた人が居て、時間が経つとともにそういうことは言わなくなつたんですけど、どう思う？ということ振ってみました。そしたら、その参加者さんは、私が思いもよらなかつた視点から、その経験のとらえ方を伝えてくれたんです。確か、そういうことを言っている人の話をどう聞いたらいいか？ノウハウというよりは「心の向け方」に関する話だったんですが、マニユアル化されたような技術的な側面ではなく、本当に相手の話を気持ちよく傾けて聞く、そういうあり方がその話の中に示されていたように思えて、しばらくその衝撃は残りましたね。インパクトがあつたので、話の内容は忘れてしまつて、今書いているような、片鱗だけが残っているカタチにはなつてしまつたんですけど、自分だけで考えて出てこないものに触れられるのなら、当事者研究を続け

てみていいかな？とは思つています。ひきこもつて独りで色んなことを考えてると、あれこれ自分の中を通り過ぎていくことはあるんですけど、頭の中の話になつちやつて、深くはならないんですよ。そんな時にいろいろ仲間と出合つて当事者研究をすることで、「ハッ」とする瞬間に出会える、だから当事者研究をやりたいと考えています。目が覚めるような経験が出来るということは、その分しんどさもあるんですけどね。初回の研究の時は特にそのことを感じました。参加者の体調や、その日のいろいろの運営状況に左右されるといふことも分かつて来たので、余りしよい込まず、気長に取り組んでいこうという心づもりで居ます。この原稿を書いている時点では諸事情で写真で見ただけなのですが、いろいろの会のひきこもり経験者の方が、いろいろに当事者研究用のホワイトボードを寄贈して下さいそうです。本当にありがとうございます！そんなこんなでやっていきたいと思ひます。皆さん、よろしくお願ひします。

〈では皆様、また来月！〉
居場所「いろいろ」の所在地は

〒781・5102

高知市大津甲969-3です。

TEL・FAXは

088-821-9519

メールアドレス

qwy3dr9k@globe.ocn.ne.jp

または

skatoiro1016@gmail.com

お便り、お待ちしております。

相談メール・友達メール・お尋ね

メール何でもOKです。

いろいろスタッフからのお願い・初めて来所される方はどうぞお読みください〉

いろいろは月・水・木・土曜日の午前10時から午後4時までの間オープンしています。もちろん、アポなしでの来所も構いませんが、出来れば来る前に居場所にお電話いただくと助かります。いろいろの近くまで来てくれたら迎えに行くことも出来ます。一度試しに覗きにおいでくれたらと思います。お菓子と飲み物（麦茶・ジュース）があります。漫画コーナーには「ジョジョの奇妙な冒険」文庫版 第一部・第二部と第四部が揃っています。第三部を揃えるかは未定です・・・。